

附指定の概要

【祈祷札 二枚】

旧指定名称 「慶長十六年在銘松江城天守祈祷札」

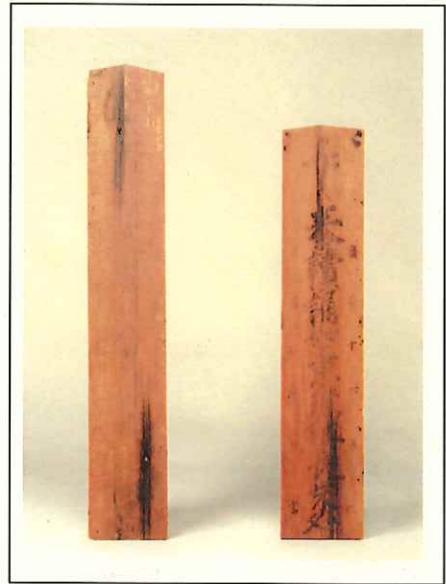
*左「奉轉讀大般若經六百部武運長久処」 祈祷札

*右「奉讀誦如意珠經長栄処」 祈祷札

城戸久博士が昭和 12 年に松江城天守で確認したことを「松江城天守」『佛教藝術 60』（毎日新聞社 昭和 41 年）で報告されたものの長く所在が不明であったが、平成 24 年 5 月 21 日に松江神社で再発見された。

慶長十六の銘があり、松江城天守の完成時期を示す貴重な一次資料として平成 25 年 3 月 29 日に松江市文化財に指定されたが国宝附指定に伴い解除。

松江歴史館に収蔵されている。



【鎮宅祈祷札 四枚】

旧指定名称 「松江城天守鎮宅祈祷札」

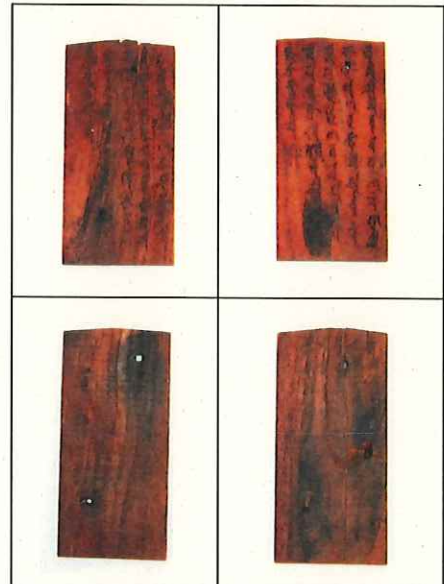
*右上・下「不動鎮宅真言」

*左上「加護所住処真言」

*左下「八字文殊真言」

昭和の解体修理工事（昭和 25～30 年）で天守内の柱や梁から発見された 4 枚の鎮宅祈祷札で、梵字の願文が記されている。打ち付けられていた方位等とあわせ、真言密教の鎮宅の修法を極めて厳密に行なったことを示すもので、他の 2 件とともに、築城に際し三態、三様の祈祷が行なわれたことを示す貴重な資料として平成 26 年 11 月 26 日に松江市文化財に指定されたが国宝附指定に伴い解除。

松江歴史館に収蔵されている。



【鎮物 三点】

旧指定名称 「松江城天守鎮物」

*左「槍」

*右上「祈祷札」

*右下「玉石」

昭和の解体修理工事（昭和 25～30 年）の際に天守地階の南西隅（裏鬼門）の大根太受け礎石の下から発見された鎮物一式である。築城に際しての地祭りの鎮物であり、発見された祈祷関係の資料の中で最も初期のものであり、他の 2 件とともに、築城に際し三態、三様の祈祷が行なわれたことを示す貴重な資料として平成 26 年 11 月 26 日に松江市文化財に指定されたが国宝附指定に伴い解除。

松江歴史館に収蔵されている。

